

このカメラの特徴と使用上のご注意

防水・防塵・耐衝撃性能について

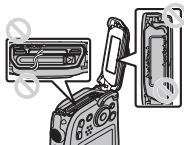
■ 防水 / 防塵機能について

- ① このカメラは JIS 防水保護等級 8 級、JIS 防塵保護等級 6 級 (IP68) 相当の防水・防塵機能を備えています。
- ① このカメラの耐衝撃性は、MIL-Standard 810F Method 516.5-Shock の測定方法に準じた、当社独自の基準 (高さ: 1.5m、落下面: 厚さ 5cm 合板) での落下テストをクリアしています。
※ 当社試験条件によるものであり、すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
※ このカメラの付属品には防水機能はありません。

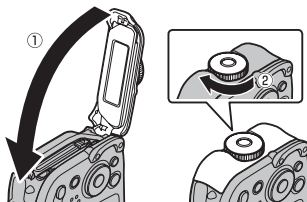
■ 使用前のご注意 / ご確認事項

- 1 防水パッキンや防水パッキンの当たる面にゴミや砂等の異物がついていないかを確認し、異物が付着している場合は柔らかく乾いた布でふき取ってください。

① 防水パッキンに傷や変形があるときは防水パッキンの交換をしてください (防水パッキンの交換は有料です)。そのまま使用すると浸水する可能性があります。詳しくは、お買い上げ店または弊社サービスステーションにご相談ください。



- 2 バッテリーカバーを本体に押し当てながら (①) 開閉ダイヤルを「カチッ」と音 (感触) がするまで回して (②)、確実にロックしてください。



- 3 必ずバッテリーカバーが確実にロックされていることを確認してください (開閉ダイヤルを逆に回して、バッテリーカバーが開かないことを確認してください)。

- ① このカメラは、レンズ正面に保護ガラスを使用しています。保護ガラスが汚れていると、撮影した画像に影響を与えますので、保護ガラスは常にきれいな状態を保つようにしてください。
- ① 必ずバッテリーカバーが確実にロックされていることを確認してください。カメラの内部に、水・泥・砂が入ると故障の原因になります。
- ① 砂・ほこりの多い場所や水辺（海上・湖上・海辺・湖畔等）、および濡れた手でバッテリーカバーの開け閉めはしないでください。浸水故障の原因になります。
- ① バッテリー、メモリーカードの交換やUSBケーブル、HDMIケーブルの接続は、カメラが完全に乾いた状態で行ってください。
- ① このカメラは水中で沈みます。必ずストラップを取り付け、使用する際には腕に巻いて落ちないように注意してください。

■ 使用中のご注意 / ご確認事項

- ① 水深 10m を超えては使用しないでください。
- ① 水中で 120 分以上使用しないでください。
- ① 内部は防水仕様ではありません。水中では、バッテリーカバーの開け閉めはしないでください。
- ① 温泉 / 温水では使用できません。
- ① 水中に勢いよく飛び込むなど、カメラに強い振動、圧力、衝撃が加わると防水機能が損なわれる原因になります。強い振動・圧力・衝撃が加わった場合は、お買い上げ店または弊社サービスステーションにご相談ください。
- ① 水洗いしてカメラを完全に乾かすまでは、バッテリーカバーを開閉しないでください。
- ① 水中でのご使用後は 60 分以上放置しないでください
- ① カメラを砂の上に置いたままにすると、カメラの使用温度を超えたり、スピーカーやマイクに砂が詰まったりすることがあります。
- ① 日焼け止めやサンオイルなどが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。万一付着したときは、ぬるま湯で洗い流してください。